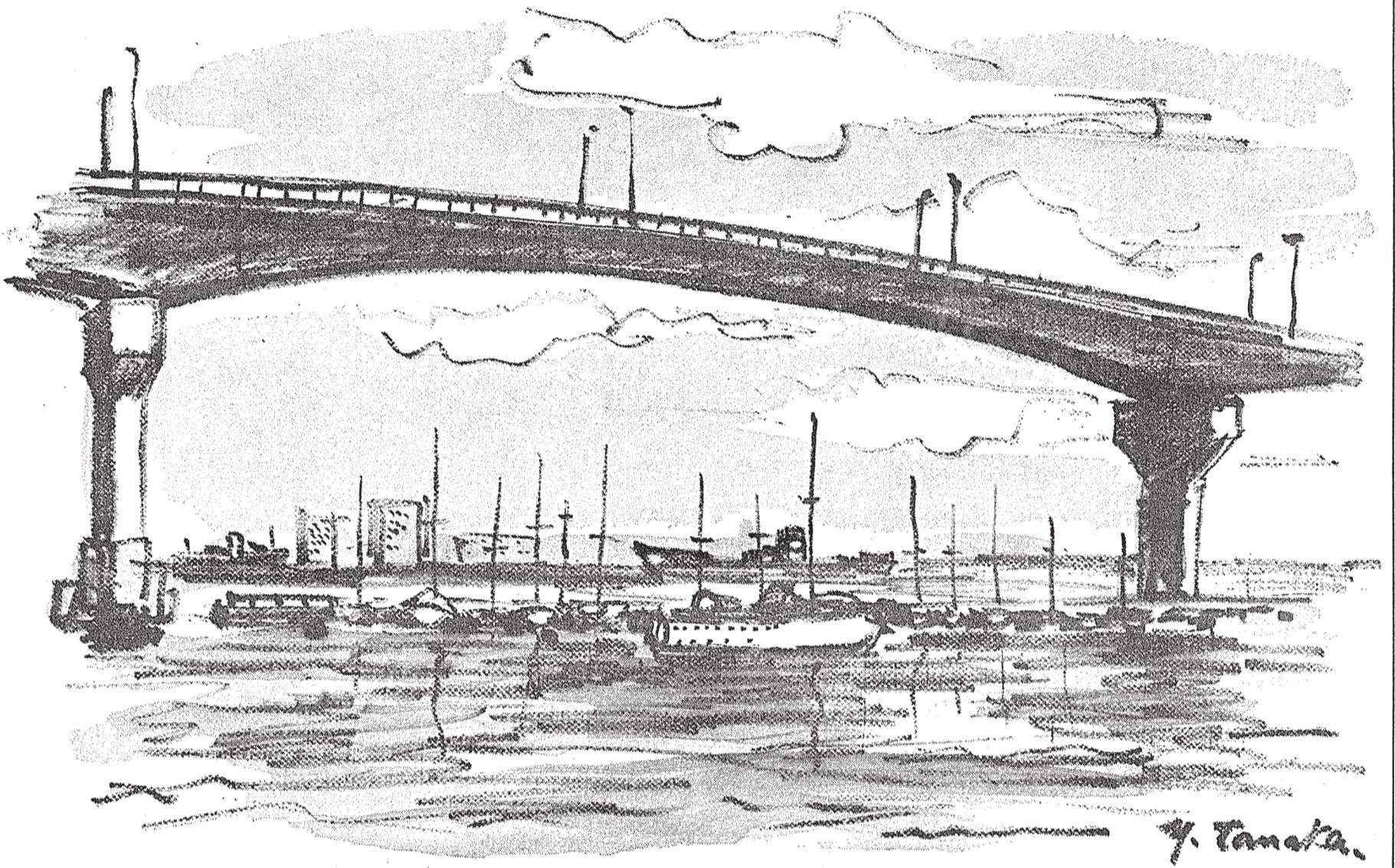


THE KANSAI UNIVERSITY NEWS

# 関西大学通信

関西大学広報委員会  
大阪府吹田市山手町3丁目



関大ヨット部艇庫から見た西宮ヨットハーバー (絵も筆者)

## 初夏に思いつ

田中行雄

今年の冬はきびしかった。

その上、そのきびしさは春まで残った。

そして、やっとほんとうの春が来たとき、待ち兼ねた草や木の花は、せきを切ったようにいっせいにふくらんで開いた。

百花繚乱というのは、今年の花のようなのをいうのだろうか。

苦しい受験勉強に明け暮れた冬を凌ぎ切って、入学して来た新入生諸君が、ちょうど今咲き競っている花々であろうか。

華やかであり、またすがすがしい限りである。

この華麗なひと時もやがて過ぎ去り、草や木は結実の営みの時期に入る。若葉が勢よく伸び出し、そしてさんと降りそそぐ太陽のめぐみを吸収し、生長の栄養源として、受精したばかりのふくらみかけためしべに送り込まれる。

学生諸君が大きな立派な果実に生長して貰いたい願いをこめて、親御さん達も、せっせと養分を送りつけられる。

学生諸君は、この必死の思いの栄養源をどのように摂取するのであろうか。

冬から開放されて春が過ぎ、やがてすがすがしい初夏が来るが、若人は若人らしく伸び伸びと青春を謳歌しつつ日々を過ごし、知的充実と体力の増強を兼ねあわせて、たくましく生長するに違いない。

高校までと異なって、大学生ともなれば、今までは別の世界を歩み始めるのは当然であろう。ある意味では巣立ちの準備を始めているのである。

親としては、目だけは離さないで、自由に羽ばたかせねばなるまい。しかし、我が子なのであるから野放図はゆるせない。かといって、鋳型にはめこむような事もすべきではない。そこいらの呼吸が仲々むずかしいが、良い意味でのリモートコントロールもあって当たり前である。

若者は無限の可能性を持っている。これをそこなわず自由に伸ばせるよう見守り、サポートもすることが肝要だろう。

学生諸君よ、親というのはそういうものなのである。君達もやがて子を持つ親になるが、すべて昔からつづいてきた順送りのサイクルである。そして何よりも、すべてにわたってたくましい青年になってくれることを、人の子の親は心底から願望しているのである。

しかし、折角の、ふたたびめぐって来ない貴重な青春の時代である。親御さんたちも昔は通り過ぎたこの数年を、君達もせいぜい伸び伸びと、そしてせい一杯充実させて過ごしていただきたいと願うことしきりである。

(工学部教授)



関東、中部地方を襲う等の大地震発生の高確率が予報されても、現実には地震が発生しなければ、それに対する警戒心は薄れてゆく。関西地方は幸いにして、大地震の揺れを大きく経験していないが、震源域としては殆ど考えられていなかった日本海中部地域が、震源となり得た日本列島を支えるプレートの動きについて聞かされたりすると、大阪は本当に大丈夫かと考えたりもする▼ところで、日本古来の伝統建築である五重塔が、地震により破壊された記録は有史以来残されていない。現代の高層建築群を生み出した理論に裏打ちされた解析もなされていない五重塔が、何故独り安全だったのか。その秘密を、大空に響とそびえ立つ五重塔に相応しい言葉に求めるとすれば、「したたかさ」と「しなやかさ」にあったと言える。前者がしっかりしたさまを、後者がたわみしなうさまを、ゆるやかにややかなさまを意味する。建物が地震の被害を免れるためには、その「強さ」と同時に「粘り」が求められることを、古く五重塔を建設した人々は知っていたのであろうか▼建物は高くなる程固有周期(最も揺れ易い周期)は長くなり、周期が長くなる程それにかかる力は小さく済むことが知られている。所謂柔構造である。五重塔内部にはまた、「斗拱」と呼ばれる非常に数多くのまがりが用いられている。これが地震により建物に供給されるエネルギーを低減するのに、大きく寄与して来ているのも事実である▼さて、五重塔を歴史的な地震からよく守り抜いた「したたかさ」と「しなやかさ」は、我々の処世訓として、誠にも示唆に富んだキーワードだと考えるが如何であらう。

(K・A)





# 昭和59年度 収支予算書

基本金組入額合計	△3,990,627	△3,753,935	△236,692
基本金	△3,777,343	△3,562,215	△215,128
特定基金	△213,284	△191,720	△21,564
<b>消費収入の部合計</b>	<b>15,222,888</b>	<b>15,301,082</b>	<b>△78,194</b>
<b>消費支出の部</b>	<b>17,017,878</b>	<b>15,957,397</b>	<b>1,060,481</b>
人件費	11,517,393	10,998,634	520,759
教員人件費	7,046,959	6,881,056	165,903
職員人件費	3,772,360	3,661,962	110,398
役員報酬	44,296	44,274	22
退職給付引当金繰入額	8,401	0	8,401
退職給引当金繰入額	645,377	409,342	236,035
教育研究経費	4,078,858	3,723,413	356,445
旅費交通費	286,822	274,257	12,565
消耗品費	9,050.40	8,322.92	727.48
印刷費	212,702	202,456	10,246
製本費	16,753	16,615	138
通信運搬費	126,535	99,990	36,545
光熱水費	354,661	287,295	67,366
補助費	144,775	138,315	6,460
広告費	4,692	3,950	742
減価償却費	724,574	598,958	125,616
修繕費	416,248	508,717	△92,469
除却費	880	1,460	△580
保険料	11,971	9,381	2,590
業務委託費	504,266	440,114	64,152
賃借料	208,055	182,103	25,952
租税公課	410	407	3
諸金費	2,895	3,169	△274
支払手数料・報酬	87,139	68,095	19,044
交際費	7,830	7,860	△30
会議費	29,461	28,483	978
雑費	34,149	29,496	4,653
管理経費	824,811	734,247	90,564
旅費交通費	42,710	37,924	4,786
福利厚生費	24,534	26,742	△2,208
年金	55,063	49,540	5,523
消印品	62,948	59,753	3,195
印刷費	57,422	55,639	1,783
製本費	322	300	22
通信運搬費	32,978	45,366	△12,388
光熱水費	14,784	15,429	△645
補助費	18,330	10,110	8,220
広告費	54,582	52,619	1,963
減価償却費	46,821	45,943	878
修繕費	39,957	42,952	△2,995
施設再編整備調査費	20,000	0	20,000
除却費	800	1,400	△600
保険料	1,454	1,480	△26
業務委託費	233,449	189,622	43,827
賃借料	5,592	4,412	1,180
租税公課	18,303	14,903	3,400
諸金費	6,693	5,216	1,477
支払手数料・報酬	31,914	23,612	8,302
交際費	11,350	11,360	△10
会議費	34,910	30,000	4,910
雑費	9,895	9,925	△30
借入金等利息	509,841	415,371	94,470
借入金利息	509,841	415,371	94,470
資産処分差額	15,975	17,732	△1,757
教育研究用機器備品処分差額	13,964	13,828	136
その他の機器備品処分差額	1,011	1,105	△94
図書処分差額	1,000	1,000	0
車輛処分差額	0	1,799	△1,799
<b>【予備費】</b>	<b>70,000</b>	<b>70,000</b>	<b>0</b>
<b>消費支出の部合計</b>	<b>17,017,878</b>	<b>15,957,397</b>	<b>1,060,481</b>
当年度消費支出超過額	1,795,190	656,315	1,138,875
前年度繰越消費支出超過額	1,461,319	805,004	656,315
翌年度繰越消費支出超過額	3,256,509	1,461,319	1,795,190

修学旅行費等預り資産への繰入支出	40,000	50,000	△10,000
有価証券購入支出	1,200,000	0	1,200,000
その他の支出	1,338,100	1,255,613	82,487
貸付金支払支出	361,100	261,100	100,000
前期末未払金支払支出	500,000	528,083	△28,083
修学旅行費等預り金支払支出	50,000	50,000	0
その他の預り金支払支出	212,000	256,430	△44,430
前払金支払支出	165,000	118,000	47,000
貯蔵品	0	2,000	△2,000
その他の支出	50,000	40,000	10,000
<b>【予備費】</b>	<b>100,000</b>	<b>100,000</b>	<b>0</b>
資金支出調整勘定	△1,818,000	△648,118	△1,169,882
前期末未払金	△1,700,000	△500,000	△1,200,000
前期末前払金	△118,000	△146,118	28,118
前期末貯蔵品	0	△2,000	2,000
次年度繰越支払資金	3,590,988	4,124,507	△533,519
<b>支出の部合計</b>	<b>3,087,824</b>	<b>2,597,263</b>	<b>4,905,583</b>

## 消費収支予算書

昭和59年4月1日から  
昭和60年3月31日まで

(単位 千円)

消費収入の部	59年度予算	58年度予算	増減
学生生徒等納付金	12,112,297	12,361,581	△249,284
授業料	8,310,141	8,390,740	△80,599
入学料	1,822,500	1,975,990	△153,490
実験・実習料	318,460	325,880	△7,420
維持補充費	1,661,196	1,668,971	△7,775
手数料	1,835,267	1,817,988	△17,279
入学金	1,627,230	1,809,479	△182,249
再入学金	458	482	△24
再入学金	556	566	△10
試験料	371	400	△29
証明手数料	5,374	5,826	△452
その他の手数料	1,278	1,233	45
寄付金	1,043,810	218,260	825,550
特別寄付金	1,021,000	201,000	820,000
現物寄付金	22,810	17,260	5,550
補助金	2,764,000	3,096,589	△332,589
国庫補助金	2,451,850	2,788,250	△337,400
地方公共団体補助金	306,150	304,339	1,811
学術研究振興費	6,000	3,000	3,000
資産運用収入	1,268,490	1,226,165	42,325
年金基金引当特定資産運用収入	2,400	2,400	0
拡充基金引当特定資産運用収入	212,000	191,000	21,000
教育振興植田基金引当特定資産運用収入	38,000	38,500	△500
奨学基金引当特定資産運用収入	1,380	805	575
退職給付引当金引当特定資産運用収入	225,000	224,000	1,000
減価償却引当金引当特定資産運用収入	4,200	4,200	0
総合図書館建築資金引当特定資産運用収入	51,000	120,000	△69,000
校地拡充基金引当特定資産運用収入	209,000	202,000	7,000
厚生施設建設資金引当特定資産運用収入	22,000	22,000	0
電気供給施設建設資金引当特定資産運用収入	9,000	18,000	△9,000
施設整備拡充基金引当特定資産運用収入	5,000	0	5,000
第3学舎増築資金引当特定資産運用収入	15,000	0	15,000
創立100周年記念事業資金引当特定資産運用収入	35,000	0	35,000
受取利息・配当金	345,000	310,000	35,000
施設設備利用料	35,110	32,860	2,250
資産売却差額	20,000	0	20,000
有価証券売却差額	20,000	0	20,000
事業収入	96,808	89,668	7,140
補助活動収入	78,262	65,968	12,294
付属事業収入	18,546	23,700	△5,154
雑収入	272,643	244,768	27,875
私学退職金財団交付金	205,101	178,330	26,771
雑収入	67,542	66,438	1,104
<b>繰越収入合計</b>	<b>19,213,315</b>	<b>19,055,017</b>	<b>158,298</b>

出の部	59年度予算	58年度予算	増減
件費支出	11,287,448	10,882,572	404,876
教員人件費支出	7,046,959	6,881,056	165,903
職員人件費支出	3,772,360	3,661,962	110,398
役員報酬	44,296	44,274	22
退職金	423,833	275,280	148,553
研究経費支出	3,944,084	3,118,255	225,829
旅費交通費支出	286,822	274,257	12,565
消耗品費支出	893,840	826,092	67,748
印刷費支出	212,702	202,456	10,246
製本費支出	16,753	16,615	138
通信運搬費支出	126,535	99,990	36,545
光熱水費支出	354,661	287,295	67,366
補助費支出	144,775	138,315	6,460
広告費支出	4,692	3,950	742
修繕費支出	416,248	508,717	△92,469
除却費支出	880	1,460	△580
保険料支出	11,971	9,381	2,590
業務委託費支出	504,266	440,114	64,152
賃借料支出	208,055	182,103	25,952
租税公課	410	407	3
諸金費支出	2,895	3,169	△274
支払手数料・報酬	87,139	68,095	19,044
交際費支出	7,830	7,860	△30
会議費支出	29,461	28,483	978
雑費支出	34,149	29,496	4,653
経費支出	777,900	688,304	89,596
旅費交通費支出	42,710	37,924	4,786
福利厚生費支出	24,534	26,742	△2,208
年金	55,063	49,540	5,523
消印品	62,948	59,753	3,195
印刷費	57,422	55,639	1,783
製本費	322	300	22
通信運搬費	32,978	45,366	△12,388
光熱水費	14,784	15,429	△645
補助費	18,330	10,110	8,220
広告費	54,582	52,619	1,963
修繕費	39,957	42,952	△2,995
施設再編整備調査費	20,000	0	20,000
除却費	800	1,400	△600
保険料	1,454	1,480	△26
業務委託費	233,449	189,622	43,827
賃借料	5,592	4,412	1,180
租税公課	18,303	14,903	3,400
諸金費	6,693	5,216	1,477
支払手数料・報酬	31,914	23,612	8,302
交際費	11,350	11,360	△10
会議費	34,910	30,000	4,910
雑費	9,895	9,925	△30
借入金等利息	509,841	415,371	94,470
借入金利息	509,841	415,371	94,470
借入金返済支出	669,710	688,010	△18,300
借入金返済支出	553,510	753,510	△200,000
借入金返済支出	116,200	144,500	△28,300
関係支出	6,743,739	3,186,580	3,557,159
土地	4,077,900	180,800	3,897,100
建物	2,282,839	697,200	1,585,639
構築物	363,000	609,800	△246,800
施設利用権	0	120,000	△120,000
敷金・保証金	0	2,000	△2,000
建設仮勘定	20,000	212,560	△192,560
関係支出	1,237,062	656,749	580,313
教育研究用機器備品	956,016	415,454	540,562
その他の機器備品	20,795	24,165	△3,370
図書	259,950	206,860	53,090
車輛	140	10,070	△9,930
電話加入権	161	200	△39
運用支出	3,097,284	1,314,820	1,782,464
拡充基金引当特定資産への繰入支出	212,000	191,000	21,000
奨学基金引当特定資産への繰入支出	1,284	720	564
総合図書館建築資金引当特定資産への繰入支出	0	120,000	△120,000
校地拡充基金引当特定資産への繰入支出	209,000	653,100	△444,100
施設整備拡充基金引当特定資産への繰入支出	200,000	0	200,000
第3学舎増築資金引当特定資産への繰入支出	200,000	0	200,000
創立100周年記念事業資金引当特定資産への繰入支出	1,035,000	100,000	935,000

## 資金収支予算書

昭和59年4月1日から  
昭和60年3月31日まで

(単位 千円)

収入の部	59年度予算	58年度予算	増減
学生生徒等納付金収入	12,112,297	12,361,581	△249,284
授業料	8,310,141	8,390,740	△80,599
入学料	1,822,500	1,975,990	△153,490
実験・実習料	318,460	325,880	△7,420
維持補充費	1,661,196	1,668,971	△7,775
手数料収入	1,835,267	1,817,988	△17,279
入学金	1,627,230	1,809,479	△182,249
再入学金	458	482	△24

この人ならば、就職試験に合格するに十分な自信を持って、照れず、大声で就職試験に臨むべきである。



就職試験は、就職してからの学生生活よりも、就職までの準備期間の方が重要である。

# 自信を持って、照れず、大声で

## 就職試験にのぞむ諸君へ

就職部長 大橋昭一

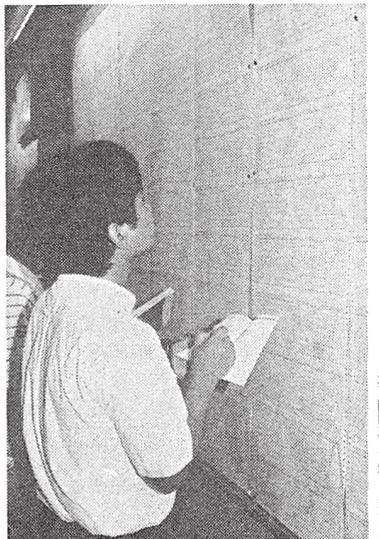
就職試験は、就職してからの学生生活よりも、就職までの準備期間の方が重要である。自信を持って、照れず、大声で就職試験に臨むべきである。

Table showing employment status by department and industry for the 58th year. Columns include department (Faculty, Commerce, etc.), industry (Finance, Manufacturing, etc.), and number of graduates.

昭和58年度就職状況 (学部別・業種別就職状況)

1. ( )内は女子内数を示す。2. 本文中の企業規模の分類は次のとおりである。巨大大企業一従業員3000人以上、中企業一従業員100-499人、小企業一従業員99人以下。

1. 企業研究とは、学生が企業選定の参考にすべく、企業内の実情を調査し、その長短を研究することである。2. 学生が、O日勤等の名目下で10月1日以前に企業を訪問することは、企業の人材担当者にその意向を伝えることである。



### 就職部

就職部は、就職試験の準備期間に、学生が企業選定の参考にすべく、企業内の実情を調査し、その長短を研究することである。

### 一夜潰れは 見破られる

就職試験は、就職してからの学生生活よりも、就職までの準備期間の方が重要である。

### 58年度の就職状況を振り返って

8年ぶり 求人件数ダウン

### 国の財政窮乏などで削減

以上のような状況にある中で、国の財政窮乏などで削減が行われている。

〈表IV〉 資金収支予算

Table of financial income and expenditure budget for 59th and 58th years. Includes categories like student fees, research, and administrative costs.

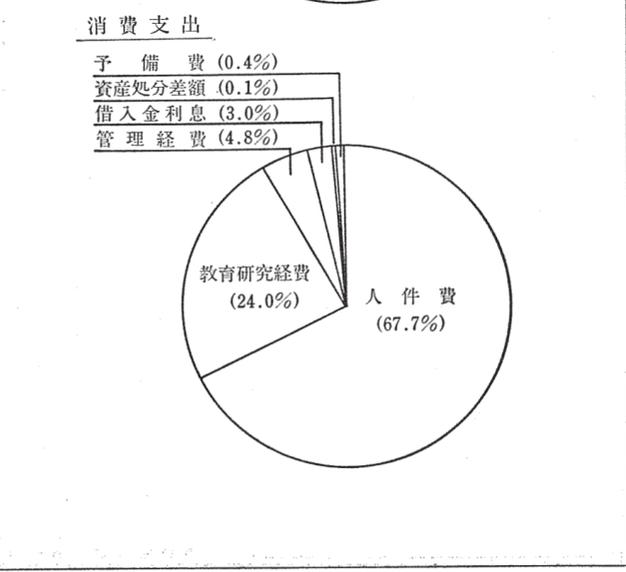
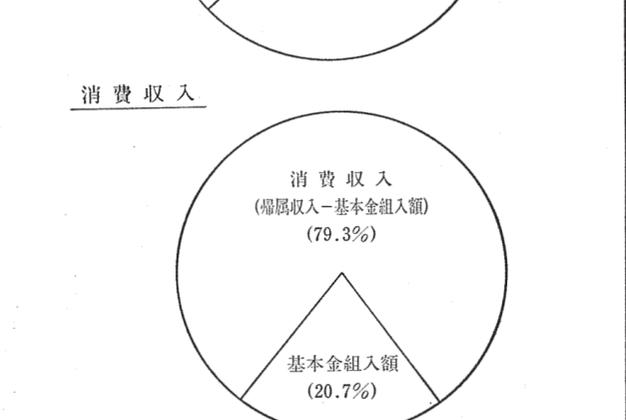
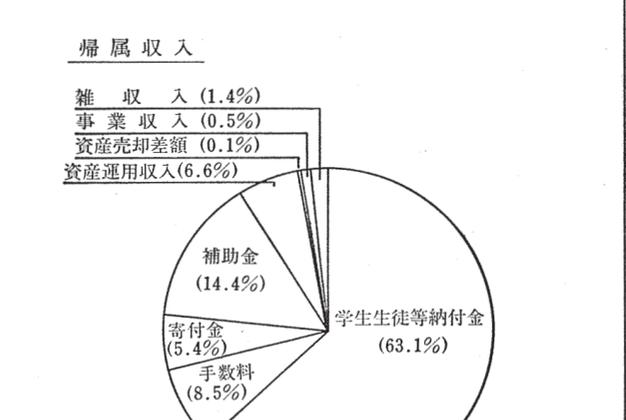
〈表V〉 消費収支予算構成

Table of consumption expenditure budget composition for 59th and 58th years. Includes categories like personnel costs, research, and administrative costs.

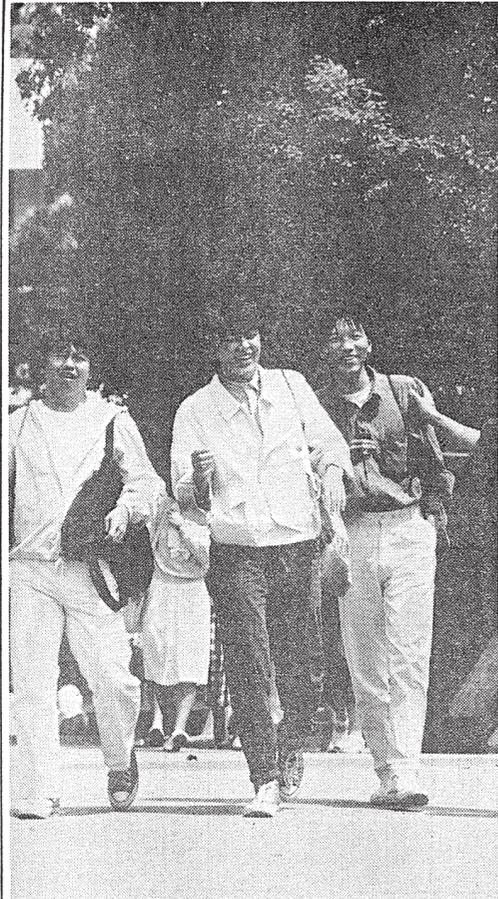
# 基本的収入が大幅減少

支出はすべて増加

消費収支予算構成



二、収支予算の概要
(一) 収入
(二) 支出
(三) 繰越金
(四) 繰越金
(五) 繰越金



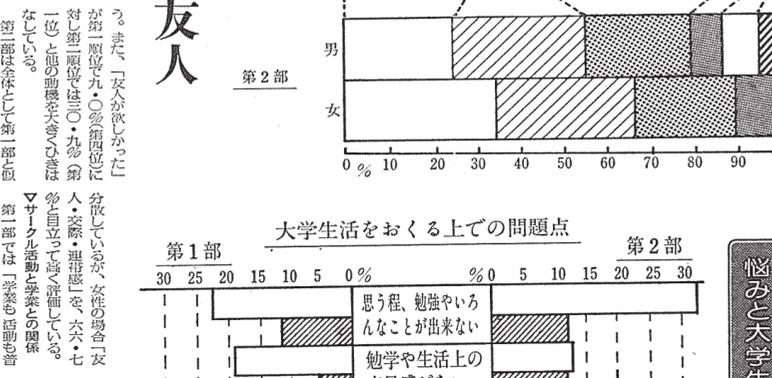
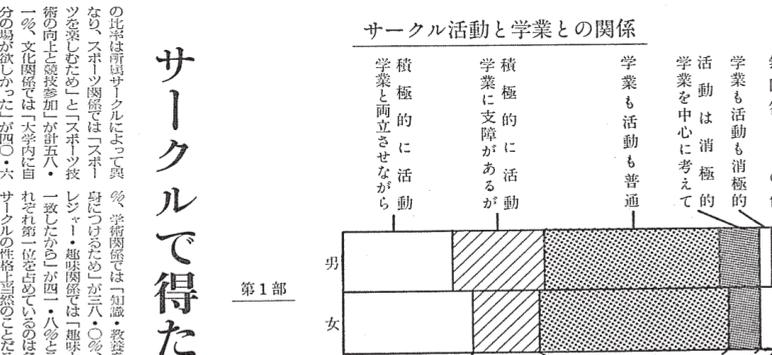
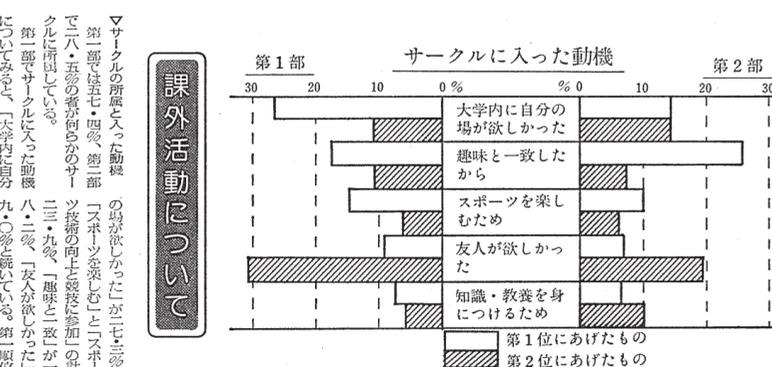
昭和58年度学生生活実態調査の結果が、このようにまとまりました。調査は、昭和58年度学生生活実態調査の結果が、このようにまとまりました。調査は、昭和58年度学生生活実態調査の結果が、このようにまとまりました。

調査は、昭和58年度学生生活実態調査の結果が、このようにまとまりました。調査は、昭和58年度学生生活実態調査の結果が、このようにまとまりました。

昭和58年度学生生活実態調査の結果が、このようにまとまりました。調査は、昭和58年度学生生活実態調査の結果が、このようにまとまりました。

調査は、昭和58年度学生生活実態調査の結果が、このようにまとまりました。調査は、昭和58年度学生生活実態調査の結果が、このようにまとまりました。

# 学生生活



## 過半数が学生生活に充実感

調査の結果、過半数の学生が学生生活に充実感を覚えていることが明らかになりました。これは、学生が積極的にサークル活動に参加し、学業と活動を両立させていることが要因と見られます。

また、多くの学生がサークルを通じて友人と出会っており、大学生活の楽しさを味わっていることが確認されました。

# いま・あかし

## 自宅通学が安定 女性の比率高まる

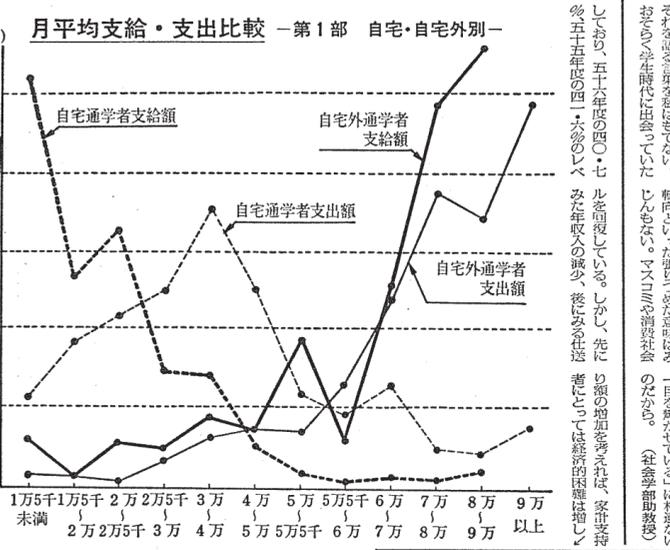
調査の結果、自宅通学が安定していることが明らかになりました。特に女性の比率が高まっています。これは、交通費の削減や通学時間の短縮が要因と見られます。

また、多くの学生がサークル活動に参加し、学業と活動を両立させていることが確認されました。

## 経済的な困難増す 家計支持者の収入減少

調査の結果、経済的な困難が増していることが明らかになりました。これは、家計支持者の収入減少が要因と見られます。

また、多くの学生がサークル活動に参加し、学業と活動を両立させていることが確認されました。



## 一人家族が一人

調査の結果、一人家族が増えていることが明らかになりました。これは、少子化や離婚率の上昇が要因と見られます。

また、多くの学生がサークル活動に参加し、学業と活動を両立させていることが確認されました。

## 調査の概要

調査は、昭和58年度学生生活実態調査の結果が、このようにまとまりました。調査は、昭和58年度学生生活実態調査の結果が、このようにまとまりました。

## おしい『生活の探求』

調査の結果、生活の探求が重要なテーマとなっていることが明らかになりました。これは、学生が自己成長を追求していることが要因と見られます。

## 若見和彦

調査の結果、若見和彦の調査結果が、このようにまとまりました。調査は、昭和58年度学生生活実態調査の結果が、このようにまとまりました。

## 小林 武

調査の結果、小林武の調査結果が、このようにまとまりました。調査は、昭和58年度学生生活実態調査の結果が、このようにまとまりました。

▼家庭教育と青少年問題

日	講 座 名	講 師
五月 十七日	今日の家庭と青少年	文学部教授 田中 欣和
五月 二十四日	政策のなかの「青少年」	文学部教授 岡村 達雄
五月 三十一日	児童文学にあらわれた親と子	文学部教授 玉田 勝郎
六月 七日	家庭におけるのぞましい学習 — 母親と子どもの生活の同行者 — — 子に伝えるもの — — 徒弟制度から見た家庭教育 —	文学部教授 小川 正 文学部助教授 野村 幸正
六月 十四日	日本と欧米の家庭教育	文学部教授 藤井 稔
六月 二十一日	青少年問題と家庭教育の課題	文学部助教授 右島 洋介

▼現代のコミュニケーションを考える

日	講 座 名	講 師
五月 二十四日	ニューメディアとコミュニケーション	社会学部教授 井上 宏
五月 三十一日	ニューメディアと広告	社会学部教授 中農 晶三
六月 七日	アメリカのマス・メディアと広告表現	社会学部教授 植藤 則夫
六月 十四日	ニューメディアとジャーナリズム	社会学部助教授 多喜 弘次
六月 二十一日	コミュニケーションの主体の形成 — ジャーナリズム・ルールの場合 —	社会学部教授 妹尾 剛光
六月 二十八日	ジャーナリズムとしての福沢諭吉	社会学部教授 掛川トミ子
七月 五日	現代ジャーナリズム論	社会学部教授 足立 利雄

▼現代社会における法と政治—何が問われているのか—

日	講 座 名	講 師
五月 二十五日	日本の税金は公平か	法学部教授 村井 正
五月 三十一日	消費者保護の法技術	法学部教授 永田真三郎
六月 一日	働く女性の保護と平等	法学部助教授 大沼 邦博
六月 八日	民主主義と人間	法学部教授 高尾 正男
六月 十五日	犯罪者を見る眼 — 犯罪者の変遷 —	法学部助教授 岡田 寿
六月 二十二日	文化としての法	法学部助教授 竹下 賢
六月 二十九日	世界の非核・日本の非核	法学部教授 藤田 久一

▼現代のコミュニケーションを考える

日	講 座 名	講 師
五月 二十四日	ニューメディアとコミュニケーション	社会学部教授 井上 宏
五月 三十一日	ニューメディアと広告	社会学部教授 中農 晶三
六月 七日	アメリカのマス・メディアと広告表現	社会学部教授 植藤 則夫
六月 十四日	ニューメディアとジャーナリズム	社会学部助教授 多喜 弘次
六月 二十一日	コミュニケーションの主体の形成 — ジャーナリズム・ルールの場合 —	社会学部教授 妹尾 剛光
六月 二十八日	ジャーナリズムとしての福沢諭吉	社会学部教授 掛川トミ子
七月 五日	現代ジャーナリズム論	社会学部教授 足立 利雄

新緑の五月到来。本年も本学の「開かれた大学」構想に基づいて、各種の公開講座、セミナーが開催される。本学学生は勿論、一般社会人の積極的な参加が期待される。詳細については問い合わせは、関西大学広報課まで。(浅野)

### 公開講座のお知らせ

日	講 座 名	講 師
四月 一日	飛鳥と吉野と飛野 — 神武天皇東征伝説の謎 —	文学部教授 横田 健一
五月 十三日	古代史の虚構 — 遺構はどのようにして作られたか —	文学部教授 有坂 隆道
六月 三日	大和に親ある人ありけり — 伊勢集作者について —	文学部教授 清水 好子
七月 一日	古代の巨石建造物 — ヒラミッドから石舞台まで —	工学部教授 山田 幸一
八月 五日	二人の藤原夫人 — 氷上大刀自と大原大刀自 —	文学部教授 神尾 忍
九月 二日	奈良朝官人の給与法	文学部教授 蘭田 香融
十月 二日	哀しき横笛の物語 — 嵯峨野と南都 —	文学部教授 青木 晃
十一月 九日	七出と三不去 — 古代の離婚原因について —	法学部教授 奥村 郁三
十二月 九日	伊勢・飛野と諸國船 — 飛野大屋敷に築かれた船船跡 —	経済学部教授 津川 正幸
一月 十三日	姻族の仮説 — 古代社会の姻族構成 —	文学部教授 上井 久義
二月 十日	古墳の築造とその技術 — 古墳はどのようにして築かれたか —	文学部教授 細川 浩
三月 三日		

### 月一回明日香村で

第10回飛鳥史学文学講座  
本学と緑の深い明日香を舞台に、日本の古代文化を多角的にとりあげた「飛鳥史学文学講座」が開催される。

回	日	講 座 名	講 師
87	三月 中旬	労働関係における平等と法 — コンピュータプログラムの法的保護 —	法学部教授 永田真三郎
86	十月 下旬	貿易取引をめぐる諸問題 — 労働関係における平等と法 —	法学部教授 永田真三郎
85	九月 六日	戦後日本の流通機構の特徴 — オイルショックを回顧して —	経済学部教授 小杉 毅
84	六月 一日	ニューメディアと新聞 — 求められる読者の意識の充実 — — ジャーナリズムと現代 — — 福沢諭吉と現代 —	社会学部助教授 掛川トミ子 社会学部助教授 藤田 幸一 社会学部助教授 小杉 毅

産業セミナー  
地域社会に対する社会貢献の促進、中小企業の経営者ほか一般社会人を対象とする関西大学経済学研究所主催の公開講座「産業セミナー」が今年も開催される。

### 第13回吹田市民大学教育講座

本学と吹田市教育委員会との共催で開催されている「吹田市民大学教育講座」は今年で十三目を迎えた。当初は「教育」と「文化」をテーマとして、市民のみなさん、ひいては一般社会人も受講できる。

▼国民経済と景気の動向

日	講 座 名	講 師
五月 十八日	日本の経済構造の諸特徴 — 戦後日本の高度成長の原因 —	経済学部教授 橋本 昭一
五月 二十五日	消費生活の動向 — 家庭生活の変化と問題点 —	経済学部教授 春日 淳一
六月 一日	貿易摩擦の行方	経済学部教授 岩井 浩
六月 八日	日本経済と雇用失業の動向 — 特に失業統計の国際比較を中心に —	経済学部教授 岩井 浩
六月 十五日	産業調整と経済摩擦 — 今後の企業戦略 — — 法租制の基本的仕組みについての検討 —	経済学部教授 小田 正雄 経済学部教授 高尾 裕一
六月 二十二日	戦後日本の流通機構の変化 — 多産業化と多国籍化 —	経済学部教授 加藤 義忠
七月 六日	現代巨大企業の二面性	経済学部教授 井上 昭一

### 経済・政治研究 究所公開講座

本学学生、一般社会人を対象とした関西大学経済・政治研究所主催の「経済・政治研究究所公開講座」が今年も開催され、好評を博している。

▼学部を越えて

日	講 座 名	講 師
五月 九日	職場の民主化	社会学部教授 奥田 幸助
六月 十三日	鉄道時代の終わりの始まり — イギリスにおける自動車の発達 —	経済学部教授 原田 聖一
九月 十二日	「資源エネルギー問題から学ぶ」 — イギリスと日本 —	経済学部教授 橋本 昭一
十月 十七日	国際化と中小企業	社会学部教授 上田 達三
十一月 十四日	今日の部落問題 — 大学生の意識を中心として —	社会学部教授 田宮 武
十二月 十日	日本の貿易政策	経済学部教授 山本 繁輝

### 新刊紹介

「経済統計学講義」  
経済学部教授 高木秀文 ほか編  
（有斐閣・三〇〇円）  
事実資料に依拠せずには現実の経済研究はできない。事実資料を整理し、利用することは理論の検証のためにも必要である。本書は、統計学に必要となる事実資料を、統計学の方法によって整理し、統計学の方法によって分析されることになった。本書は、経済学を学ぶ者にとって、統計学の見方、使い方に役立つものである。

「危険管理論」  
社会学部教授 亀井利明著  
「企業危険とリスクマネジメントの理論」  
（中央経済社・三〇〇円）  
著者によれば、「一般に企業は、倒産してはならない社会的存在である。当然のことながら、企業倒産を防止し、経営的な危険を回避するためには、積極的な危険管理の導入が不可欠である。本書は、危険管理の科学的アプローチを提示し、その実践的意義を明らかにしている。本書は、企業経営者、研究者、学生に役立つものである。」

「現代日本の流通政策」  
社会学部教授 保田秀昭ほか編  
（大月書店・二四〇〇円）  
本書は、現代日本の流通経済（全五巻）の第三巻、戦後日本の流通政策を歴史的に検討し、その意義と限界を明らかにし、今後の流通政策のあり方を示している。本書は、流通政策の研究者、関係者、学生に役立つものである。本書は、流通政策の研究者、関係者、学生に役立つものである。

「現代日本の流通政策」  
社会学部教授 保田秀昭ほか編  
（大月書店・二四〇〇円）  
本書は、現代日本の流通経済（全五巻）の第三巻、戦後日本の流通政策を歴史的に検討し、その意義と限界を明らかにし、今後の流通政策のあり方を示している。本書は、流通政策の研究者、関係者、学生に役立つものである。本書は、流通政策の研究者、関係者、学生に役立つものである。

「現代日本の流通政策」  
社会学部教授 保田秀昭ほか編  
（大月書店・二四〇〇円）  
本書は、現代日本の流通経済（全五巻）の第三巻、戦後日本の流通政策を歴史的に検討し、その意義と限界を明らかにし、今後の流通政策のあり方を示している。本書は、流通政策の研究者、関係者、学生に役立つものである。本書は、流通政策の研究者、関係者、学生に役立つものである。

政策からであった。それ以後流通政策は一貫して寡占体制にあって「前向き」の政策であった。本書の「前向き」の政策は、それは寡占占資本主義的流通政策であった。

その中で中小企業や消費者は矛盾のしわ寄せを一手に引き受けている。流通政策の民主化を本質的に捉えるためには、流通政策を政治的に捉える必要がある。本書は、流通政策の研究者、関係者、学生に役立つものである。本書は、流通政策の研究者、関係者、学生に役立つものである。

「現代日本の流通政策」  
社会学部教授 保田秀昭ほか編  
（大月書店・二四〇〇円）  
本書は、現代日本の流通経済（全五巻）の第三巻、戦後日本の流通政策を歴史的に検討し、その意義と限界を明らかにし、今後の流通政策のあり方を示している。本書は、流通政策の研究者、関係者、学生に役立つものである。本書は、流通政策の研究者、関係者、学生に役立つものである。

### 編集後記

危険していた通り、というべきか、カナイ紙面構成に終わってしました。  
「〇〇百人に聞きました」とかいうクイズ番組がある。解答者は、〇〇人に対するアンケートの答えとしてどの反応が一番多かったかを予想しなければならぬ。自己の意見とは関係なく、〇〇人の大勢を知ることが解答者が賞を獲得する仕組みである。学生生活の現状を紹介したのは、他者志向の国民性を増幅する意図からではないのだから、念のため。  
尚、四月から法学部福澤博士教授が、岡村剛教授に代わって新しく委員になられた。(浅野・徳岡)

世界の大学

ウオリック大学

中部インランドにあるコペンハーゲン、大戦中に受けた爆撃、そしてわずかに残った古い町並みとの調和を図った戦後の都市計画で知られるこの大学は、新カシードラルの建設と並び、同市の復興のシンボルとしてその設立運動が進められ、一九六四年にいわゆる新大学のひとつとして創立された。

自動車産業等の盛んな産業都市の人々の熱意を支えられて定足しただけに、数学をはじめとする自然科学やヒューマン・スタディが有力といわれ、経済学部でも産業経済学などの応用経済学への志向が強い。アート・センター(写真)では学会や学術講演会他にセンター等も催され、地域の文化センターの役割も果たしている。(経済学部教授・安喜博彦)

